

瀬長島ウミカジテラス (ウミカジテラス・せなまーる会)

沖縄県豊見城市

地域資源を活用し、観光客と 地元民の双方が楽しめる取組を実施



取組の背景

国内外問わず、多くの人に 瀬長島に来てもらうために

商店街施設「瀬長島ウミカジテラス」のある瀬長島では、美しい景色を楽しむことができ、訪れる観光客も多い。しかし、瀬長島へのアクセスは、沖縄本島から海中道路を渡る方法しかないため、ピーク時であるランチタイムや日の入りの時間帯には交通渋滞が発生する場合がある。その一方で、朝(9時～11時)及び夜(19時以降)の時間帯の来街者数は相対的に少なく、来街者の訪れる時間帯にばらつきがみられた。

また近年、沖縄県を訪れる外国人観光客が急増し、那覇空港への新規就航も増え続けている。瀬長島は、那覇空港から南に0.5kmと近くに位置していることもあり、これら急増する外国人観光客への対応に迫られていた。



夜のウミカジテラスに映えるプロジェクションマッピング

取組の内容

外国人観光客だけでなく、 地元住民にも愛される取組

相対的に来街者が少ない時間帯に訪れたいくなるような仕掛けづくりや、外国人観光客が快適に過ごせるような環境整備のため、以下の3つの取組を実施している。

1つ目は、天然温泉の活用である。瀬長島では天然温泉が湧き出ており、泉質はナトリウム一塩化物強塩泉で保湿力が非常に高く湯冷めしにくい等の効果があり、これまでは地域住民や宿泊者が楽しんでいた。温泉

は外国人観光客からも人気が高いことから、買い物や夕日を観に訪れた観光客でも手軽に楽しめるよう「足湯温泉」として整備した。「足湯温泉」は、観光客のみならず、地域の少年野球チームが島内の野球場でプレーした後に浸かりにくる等、地元住民からも人気が高い。

2つ目は、瀬長島ホテルと連携した、食と文化・地域工芸品等の販売イベント「朝市」「夜市」の開催である。「朝市」ではテントを設置し、地域食材を用いた食品や伝統工芸品等の販売のほか、海を目の前にしてヨガ教室を開催する等、グルメと体験型イベントを実施している。また「夜市」では、台湾の夜市で実際に使用する屋台、ランタン、テーブル・イス等を導入し、本場台湾の夜市さながらの雰囲気を出することで、普段とは違う魅力を創り上げている。

そして3つ目は、夜でも楽しめるエンターテインメントの構築である。琉球組踊、子宝岩等の地域に伝わる伝統や歴史に加え、瀬長島の景観や美しい自然を題材にしたプロジェクションマッピングを製作し、ウミカジテラス内に投影している。プロジェクションマッピングは、外国人観光客も観賞して楽しむことができるエンターテインメントであり、日中とは異なる瀬長島を楽しむことが可能である。

取組の成果

来島者は順調に増加 目指すは年間来街者500万人

豊見城市の調査によると、瀬長島への来島者は2012年度から2017年度にかけての5年間で約188万人増加している。島への道路や駐車場等の整備を、豊見城市が中心となり取組んだことで、島へのアクセスが容易化したことに加え、瀬長島ウミカジテラスをはじめとする商業施設や、ホテルの充実により、観光客が多く訪れたものと分析されている。なお、2015年から2017年にかけては、来島者が目標としている160万人を80%上回る、288万人となり、前述の様々な取組みに対しても、一定の成果が得られている。

今後、売上高、歩行者通行量、外国人観光客の来街

者数を毎年測定し、その結果に基づいて検証と改善を実施していく予定である。具体的には地元客、観光客（特に外国人観光客）それぞれのニーズを分析した上で、ターゲット毎の対応策と取組を実践していく。また、行政機関や商工会、観光協会等の各支援機関との連携を密にし、瀬長島エリアの発展に繋げていく。

また、今後のまちづくりとしては、「健康」と「交流」をテーマに、美しい景色や温泉等、瀬長島の可能性を最大限に活かしながら環境にも地域にもやさしいまちづくりを目指す。更に、地域資源を活かしたイベントや子供達の育成、そしてコミュニティの場としての役割を果たし、2020年までに国内外から年間来街者数500万人を目標としている。

実施体制

事務局をはじめ役員で地元の祭りへの参加や、会員及び店舗スタッフで月1回の島内清掃を行う等、積極的に地域活動に参加している。

加えて、すでに実施している前述「朝市」においては、事務局及び会員有志10名ほどで企画と運営をしてきた。

その他、自主財源として、会員店舗より売上の2%を広告宣伝費として徴収し、各種広報及びイベント企画等を実施している。



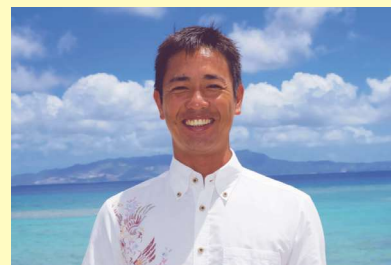
月1回の島内清掃

キーパーソンからのコメント

働く人の笑顔が瀬長島をもっと魅力的にする

素晴らしいロケーションがある施設があっても、来島される人が心地よい経験をするためには、受け入れる人達がこの場所で働くことを楽しんでいなければなりません。笑顔で挨拶を交わすことができ、営業のルール守り、イベントがあればみんなで参加して楽しむことができる心地よい職場。

みんなの力を合わせ、様々な問題を一つずつ解決していくことで、この島をもっと魅力的な、笑顔あふれる島にすることができるのだと思います。今後も行政機関や商工会、観光協会等の各支援機関との連携を密にし、瀬長島エリアの発展に繋げていきます。



ウミカジテラス・せなまー会 会長
大原 拓

商店街の概要

瀬長島は沖縄本島から約1km西（那覇空港から車で約15分）に位置する周囲約1.5kmの島であり、本島とは海中道路で結ばれている。瀬長島ウミカジテラスは、瀬長島西海岸に隣接した傾斜地に展開する、温泉施設を整備した商店街施設であり、2015年8月1日にオープンした。「瀬長島ウミカジテラス・せなまー会」は瀬長島ウミカジテラスオープンと同時に設置された、店舗の運営者、瀬長島自治会、瀬長島ホテル、及び瀬長島BBQ施設「グランキャンピング」を合わせた45店舗46名で構成された組織である。年間約288万人の観光客が国内外から訪れる沖縄本島南部エリアの比較的新しい地域であり、地元住民や観光客が多く訪れる。

- 所在地 沖縄県豊見城市瀬長
- 人口 6.4万人（豊見城市）
- 電話／ 098-851-7446
- FAX／ 098-851-7675

- URL <https://www.umikajiterrace.com/>
- 会員数 46名
- 店舗数 40店舗（小売業11店、飲食業26店、サービス業2店、その他1店舗）

- 商店街の類型 観光型
- 主な客層 学生・若者、国内観光客／10歳代以下、20歳代